

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 のびっこらんど愛愛

職員数 5 名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		基準上適正です。	
	2	職員の配置数は適切であるか	5		配置基準上適正です。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5		玄関、室内も段差なく出入り出来、多目的トイレ等の設置もしています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		ISOの認証を受け、工程に沿って業務を行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		定期的を実施し、ご要望等を踏まえて改善や取り組み内容の見直しをしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		ホームページでの公開の他、事業所内掲示と保護者様への配布をしています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5		定期的に第三者委員会が開催され、業務の見直しや改善に努めています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		法人内部の研修の他、地域や県内外の研修にも積極的に参加しています。	昨今は集合形態だけでなくオンラインの研修も増えており、今後も積極的に活用していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		面談や利用アンケート等で保護者様やお子さんのニーズを分析し、個別支援計画へ反映させています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		事業所で使用しているアセスメント様式その他、各種検査結果等の情報も個別支援計画作成の参考にしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	3	特に個別指導は担当制を取っており、職員個々によるプログラムの立案・提供になります。ただし、職員の専門性を持ち寄った活動も多く立案しており、チームでのアプローチに努めています。	職員の専門性を持ち寄った活動も多く立案し、引き続きチームでのアプローチに努めます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		季節に応じた活動を取り入れ、その都度お子さんや保護者様のご要望を参考に企画、実施しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5		特に休日の開園日や長期休暇中には行事を企画し、お子さんの楽しみや自立に向けた内容になるよう工夫しています。	今後も保護者様やお子さんからのご要望を踏まえ、楽しい活動を提供していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		保護者様やお子さんのご要望を踏まえ、状態に合わせた活動の提案、実施をしています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		毎朝打ち合わせを実施し、送迎のスケジュールやお子さんの特記事項、課題の内容などを確認しています。	個別指導等担当外の内容についても、職員全員が把握出来るように努めます。また、引き続き業務日誌も十分活用します。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2		お子さんの降園後の十分な振り返りは時間の都合上難しく、特記事項等の報告に留まっている状況ですが、翌朝の打ち合わせでは詳しく共有しています。15と同様、引き続き業務日誌も十分活用します。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		お子さん個々の目標に沿った実施内容と達成について、登園からの全体の様子も記録してモニタリングに反映しています。		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5		半期に一度定期的にモニタリングを行っており、目標の継続や変更に同意をいただいています。必要に応じて活動プログラム等を見直す場合もあります。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	5		ガイドラインに記載されている活動を十分に取り入れながらプログラムを設定しています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		児童発達支援管理責任者の他、必要に応じて担当職員も参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5		送迎へ出向いた際、その日のお子さんの状態を必ず確認し合っています。また、これから予定されている行事等も事前に知らせていただいています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5		医療的ケアが支援の目標になっているお子さんが在籍しておらず、連携の体制は十分整っていません。ただし、今後必要になった場合は十分連携し、個別支援計画への記載も行っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5		児童発達支援との多機能事業所であり、就学後も継続して利用いただいているお子さんがほとんどで、一貫した支援と連携していた土台はその後も継続出来ています。	支援ファイル『かけはし』の活用も更に進めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		5		現在まで対象となるお子さんがおらず、連携の体制は十分整っていません。ただし、今後必要に応じて連携する事は十分可能です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		併用しているお子さんについて訪問する等しながら情報交換を行ったり、研修会等へ参加したりしています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5		現在積極的な企画・実施は出来ていません。今後ご要望等を踏まえて検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5		地域の自立支援協議会のこども発達支援部会に参加しており、地域における課題の把握と改善に努めています。この他、圏域での連携会議にも出席しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		登園や降園時の申し送りや連絡帳を活用してお子さんの日々の成長や課題等を共有しています。また、面談や電話での相談も受け付けて対応しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	他事業所で行っているペアレント・プログラムへの参加を促す等、機会の提供を行っています。	ペアレント・プログラム等、事業所単独での開催は難しい状況ですが、助言などは随時実施しています。
保護者への説明責	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		主に利用契約を結ぶ際にご説明し、不明な点等が残らないようにしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		28と同様です。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3		保護者会の活動はありませんが、今後保護者向け学習会等の企画を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		主に利用契約の際に苦情解決責任者と受付担当者を伝え、苦情受付箱や第三者委員会等についてもご説明しています。苦情があった場合の対応や報告、改善については法人のルールに沿って行っています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		法人の広報誌が定期的に発行されており、ホームページでは日々の活動の様子などを新着情報として随時更新しています。	

任	35	個人情報に十分注意しているか	5		主に利用契約時に個人情報の取り扱いに関する書面を用いてご説明しています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		分かりやすい説明を心掛け、視覚的ツールを活用した支援も取り入れています。特に連絡帳には使用した教材の写真を貼り付け、保護者様もイメージがしやすいように配慮しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2		現在外部の方を招待する行事等は企画・実施出来ていません。今後ご要望等を踏まえ、地域に発信出来る方法を検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		マニュアルの整備に努め、職員全員に周知しています。各種マニュアルを保護者様に配布し、事業所玄関にも設置しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		年間を通して防災訓練の計画をしており、地震及び火災について実施しています。全てのお子さんが訓練に参加出来るよう、防災訓練週間を設けています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		年度初めには職員で倫理要綱の読み合わせを行っています。権利擁護や虐待防止に関する話題を毎月の職員会議で必ず取り上げ、研修会等へも積極的に参加しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			対象となる事例がなく、このような対応はしていません。ただし、やむを得ない状況がある場合への対応は、個別支援計画に記載するなどルールに沿って行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		5		場合によっては医師の指示書に基づく対応も可能です。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			ヒヤリハットの報告を行う流れが確立しており、毎月の職員会議にて必ず取り上げています。それを基に事例集を作成し、十分活用出来ています。